



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

2007.2.7 (No.2444) 週報 No.28

第2560地区ガバナー／中條 耕 二
 会 長／渡 辺 勝 利
 会長エレクト／荻根澤 隆雄 (クラブ奉仕A)
 副 会 長／中 村 和 彦 (クラブ奉仕B)
 幹 事／山 田 富 義
 S A A／石 月 良 典
 会 計／中 村 和 彦

例会日／毎週水曜日 12:30～
 例会場及び事務局／
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (〃はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押してください)

■本日の出席会員数:65名中47名
 ■先々週出席率:84.13%

【ゲスト】

・三条市勤労青少年センター
 ソレイユ三条館長 長谷川トミエ様

【先週のメークアップ】

[2.5] 三条南RCへ
 ・五十嵐昭一さん、成田秀雄さん
 [2.6] 三条北RCへ
 ・斎藤弘文さん



「率先しよう」

2006～2007年度国際ロータリーのテーマ



プリムラマラコディア

会長挨拶

渡辺勝利 会長



今日は第1例会で誕生祝等の各種お祝いを差し上げる日となっておりますので、時間のやり繰りを考えまして、まだ多くの会員の皆様はお食事中でいらっしゃると思いますが、ご挨拶をさせていただきます。お食事はごゆっくりしていただきながら、耳だけお貸し頂きたいと存じます。

先週の例会のときに物忘れが気になり、会員の川瀬先生に突然でしたが声をかけさせていただきましたら、希望の日時を2、3リストアップしてメールで知らせて、とおっしゃいましたが、私はメールを受けてはいますが出したことがなく、少し慌てましたが何とか発信しましたら、早速その日の夜にメールで返事が来ました。しかし、それに対しての返事は先生からのメールをプリントアウトしたものにボールペンで書き込みをしてFAXを流しました。昨夜オーストラリアへ嫁に行った娘が帰ってきておりまして、偶々孫が悪戯をして壊した私のパソコンを直してくれたのですが、その際、私のレベルの低さを「どうして判らないかが判らない。」と呆れ顔で評していました。それと柳沢厚生労働大臣の失言の記事を見て、あなたは政治家にならなくて良かった、何回首が飛んだことか。私は娘や家内よりもエレベーターには平気で先に乗り込みますし、婦人は主人との対比から差別用語と言われておりますが、言葉使いが不用意過ぎるのだそうです。今三条市ではゴミの持ち込み料のことが話題になっていますが、むこうではランドタックスという面積割の税をはらうとごみは無料で引き取ってくれ、分別もリサイクル出来るものだけ別にするだけで、リサイクルの更なる区分けは市でやっているそうです。ところ変われば、と言うことなのでしょうが、私には、歴史と環境が人の考え方や行動をこんなにも変えてしまうものかと、改めて感じたことでした。

幹事報告

山田富義 幹事

◎2007～2008年度ロータリーの手帳注文がとどいておりますので、案内を回覧いたします。ご注文の方は○印をお願い致します。

(経費は会で負担いたします。)

石塚欣司さん、小出子恵出さん、杉山幸英さん、船越正夫さん、藤田説量さん、齋藤真澄さん、猪口英夫さん、松永一義さん、田中 仁さん、小柳直人さん、中村和彦さん、明田川賢一さん
長谷川館長様、卓話ありがとうございます。楽しみにしております。

伊藤寛一さん、五十嵐寿一さん、若槻八十彦さん、五十嵐晋三さん、歸山 肇さん、浅野金治さん、野崎喜一郎さん、小越憲泰さん、平原信行さん
50周年を成功させるためにスマイルBOXに協力します。

ニコニコBOX

2月7日分 ￥ 76,000
今年度累計 ￥1,552,000

渡辺勝利さん

三条市勤労青少年センター館長の長谷川様、今日は卓話ありがとうございます。

久しぶりに自分の子供4人、そのつれあい4人、更に孫10人のそろいぶみが今日から始まりました。

石橋育於さん

50周年に関連して28日に卓話させていただきます。

松谷昊吉さん

式典当日まで、いよいよあと67日になりました。

齋藤弘文さん

藤田説量バスターが競馬のエキスパートと知り、大変身近に思えてうれしいかぎりです。

荻根澤隆雄さん

今冬は高森会員より少雪(消雪)パイプを布設して頂いたお陰で助かっております。

広岡豊作さん

免許証の更新が済みました。シルバーマークを付けて安全運転でいきたいと思えます。

川瀬康裕さん

長谷川さん、卓話ご苦労様です。50周年に協力して。

山田富義さん

三条市勤労青少年センター館長の長谷川様、卓話ありがとうございます。

所用のため早退します。

会田二郎さん

長谷川様の卓話に感謝致します。

50周年、楽しみです。

石月良典さん

節分も終わり、旧暦で新しい年に入りました。気持ちを引きしめてがんばろうと思えます。

長谷川様、本日の卓話ありがとうございます。

藤田紘一さん

もうすっかり春到来です。

丸山行彦さん

暖冬のせいか花粉症が早々と始まりました。しばらく辛い日々が続きます。

長谷川トミエ様、卓話ありがとうございます。

樺山 仁さん

2月3日日本成寺の豆マキに行って来ました。本日の長谷川さんの卓話に期待して。

卓 話

「若者サポートステーション事業について」

三条市勤労青少年センター 館長 長谷川トミエ様



三条市勤労青少年ホームソレイユ三条、館長長谷川でございます。

今日は、本当に貴重な時間をいただき、ありがとうございます。心から、感謝申し上げます。

ソレイユ三条は、平成7年に厚生労働省の補助を受けて新設されました、12年目になります。

三条市教育委員会生涯学習課の所管施設であります。図書館、公民館同様の市の施設です。

15歳から35歳未満の青少年の活動の場、三条市の次代を担う全ての若者が仕事以外の体験交流活動をする場でございます。

昼間働いて夜になりますといろんな講座、サークル、青年の委員会活動を目指して、年間約1,800人の青少年が出入りしてくるようになりました。

時代の変化と共に、若者の実態が大分変わってまいりました。

1,800人の青少年の内、24%の青少年の職業欄が空欄であります。書かないのです。

「バイトだから」「派遣会社だから」「辞めたんだ」「今探してるんだ」いろいろです。「俺ニート」とはっきりいう子もいます。「俺、ブー太郎」なんてはっきりいう子もいます。とにかく24%のこの率は、年々上がってまいりました。

もう自信をなくしてしまって、ハローワークにもいけない子も出ている状況も見受けられます。

今、ソレイユ三条では大きく3本の柱で活動いたしております。

若者の活動しやすい体制作りを進めているのですが、3本柱の2番目、「若者の居場所」「職場や家庭以

外でほっとする居場所」が必要になってまいりました。そして、3番目、若者の就労相談支援の場「自立支援の場」が非常に重要になってまいりました。

今、若者は一旦学校を卒業いたしますと、相談の場がほとんどありません。学校へ戻って相談するわけにはまいりません。

いきなり厳しい社会の中で右往左往しているという状況、また離職してしまいますと求職活動に大変日数を要して、だんだん自信をなくして過ごしている若者、また学校時代不登校を繰り返して、卒業しても社会に出てそのまま引きこもりに、という子もあります。

就学から就労まで、以前は就学から就労に即つながっておりました。

この狭間で、無業の状態を引きこもりになってしまっている若者もおります。

勤労青少年ホームソレイユ三条は、全ての若者が対象でございます。個々に応じた相談、自立支援が不可欠になってまいりました。

平成14年、厚生労働省の委託事業としてハートナビゲーション相談事業を受諾することができました。カウンセラーが毎週木曜日の夜、3時間厚生労働省の予算で来てくれておりました。3年継続いたしました。

厚生労働省は今度、ハートなんですけれども職業支援を中心にしてくださいということで、キャリアナビ相談事業というのに名称が変わりました。

17年4月から、キャリアナビ形成相談事業、カウンセラーが1名ずつ毎週木曜日に夜3時間来てもらって相談事業を続けております。

そして、大変ラッキーなのですが、平成18年の8月、三条地域若者サポートステーションをソレイユ三条に開設することができました。

今度は毎日です。週1回ではございません。

月曜から金曜日まで1時から夜の9時まで3人のカウンセラーが2名、ソーシャルワーカーが1名、計3名がローテーションを組んで、ソレイユ三条で相談事業やいろんなプログラム、セミナー等の事業を展開させていただいております。

この事業も厚生労働省で、全国で1箇所1,100万円の事業で全国で25箇所です。新潟県に1箇所来るか来ないかわからない状況でございましたが、県内1箇所、県の推薦を得て三条市に参りました。

「きっと新潟市に行くんじゃない」とか「長岡へ行くんじゃない」とか言っておりましたが、三条市に入ってまいりました。

厚生労働省の委託事業でございます。これを是非有効利用してまいりたいと思っております。

三条市といたしましては、若者の就業支援推進のために4月に三条市若者職業支援ネットワーク会議を開催いたしました。

委員16名が市長さんの委嘱状をいただいて今2つの課題に向かって取り組んでおります。

1点は、周知・PRでございます。「サポートステーションはどこにあるの?」とわからない子がいっぱい

いいるはずです。

地域にはおかあさん方も大変心配している中で、親御さんの相談もできるこのサポートステーションを大いに利用していただきたいのです。PRに頑張っております。

それから就労、社会参加、ボランティアと受け皿の充実ということで、雇用関係者のご理解、ご支援が必要になってまいりました。

今後更に、具体的に進めてまいりたいと思っており、厚生労働省の委託事業を有効に活用させていただきたいと思っております。

今日はカウンセラー3名の内の一人、米田陸美キャリアコンサルタントと一緒に来ていただきました。今現在、8月から1月までの相談事業はもう300件となってまいりました。この300件の内、三条市が39%位です。県内1箇所なものですから新潟から長岡から柏崎から見附からとあちこち市町村外の青少年、保護者のみなさんが相談にやっけてまいります。もっともっと三条市に定着したいものがございます。

大変貴重な時間をありがとうございます。

どうぞサポートステーションの内容にこれからつつこみたいと思っておりますのでお聞きいただきたいと思っております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

キャリアコンサルタント 米田陸美様



皆さまごめんください。キャリアコンサルタントカウンセラーの米田陸美でございます。よろしくお願いたします。

新潟県に唯一サポートステーションができました。

サポートステーションはいったいどういう仕事をするのかと言いますと、ニート、引きこもりと言

われている15歳から34歳までの若者が仕事をするのを目標にして相談活動に関わっております。

新潟県では14,000人もニート、引きこもりと言われる若者がいると言われております。

その14,000人は実際の数ではなく、おおよそ推定の数です。それ以上多いとも言われています。

その14,000人の中に三条市の人達はどれ位いるのか、加茂市はどれ位だろうか、燕市はどれ位だろうか、というのは未だに調査はされておられません。

今現在、全国25箇所サポートステーションが調査をしておりますので、そこから推定されて人数が出てくるのかなと考えております。

ソレイユでは毎月50名近い方が参加されています。

どういうことに参加しているかと言いますと、皆さんの手元にチラシがありますが、仕事の流儀や応用編、コミュニケーションのとり方というのをサポートステーションでセミナーとして開いております。

毎月50名近い方が相談に来られて、あとの50名近い方がセミナーや若者のおしゃべり広場、保護者のおしゃべり広場に参加しています。

どうしてこういうセミナーが必要なのかといいますと、ニート、引きこもりといわれる若者は、「怠け者でやる気がなくて自分自身に自信がない」というふうに一括りでまとめられていますが、本当の実像はやる気があります。そして自信がないけれども、なんとか今の自分を働くように、みんなと同じようになりたいと思っているのです。

でも、それができなくて「どういうふうによればいいんだろうか?」と思いながら日々悶々としています。

まず、一番大事な要点はと言いますと、人とどうコミュニケーションしていいのかわからない、会話に加わるけれど、ちゃんと会話をしたいがどういふ返事をしていいのかわからなくて、一心に聞いていて、いつ自分の言葉を発言しようかと思っているので、ますます空回りをして、回りから「あいつは変なやつだ」とか「浮いている」と言われていると思込んでいるのです。

そういう若者たちに自信を持ってもらうためにセミナーをして力をつけていただきます。そして、カウンセリング的に相談を行って、一人ひとりに何が大事なのか、何を必要としているのかを決めて、ご本人と一緒に自分の目標に向かって歩いていただくのですが、10年も20年も引きこもっていた方の中には急に仕事といっても難しい方もいらっしゃいます。そういう方にはボランティア、ボランティアの次にはパート・アルバイト、そして次は就労となりますが、就労となるとハローワークになりますが、ハローワークにはなかなか行けません。

それは、5年あるいは10年・20年の空白、履歴書に書く空白がどうしても自信がなくてハローワークに行けないという方もいらっしゃいます。

でも、5年・10年の空白、あるいは3年しかパートをやっていない、そういう空白の部分をよく考えてみると「しっかり人と関わることに悩んでいた時

期でもあるし、自分のことを見つめたい時期でもあるのだから、そういうふうを考えていかないか」というふうに水を向けると、自信を持ってハローワークに行けるんです。

就労数が10月では「1」、11月では「2」という数になっていますが、これは正社員になった数です。パート・アルバイトの数は中には含まれておりません。でも、実際には自分には今何が足りないのかというふう気付かれて、勉強するために専門学校に行った方もいらっしゃいます。

それから、社会福祉センターでボランティアに加わっている方もいらっしゃいます。

図書館に行ってボランティアをされている方、あるいはソレイユにボランティアで参加されている方、点字のボランティア、パソコン入力のボランティアに参加されている方もたくさんいらっしゃいます。

自分で家の中でもっと自分自身を見つめて家の事業、家のお手伝いをしたいという方も、自分の目標を見つけたということになりますが、就労数の中には入ってきません。

私たちソーシャルワーカー、カウンセラー2名、計3名でソレイユの皆さんの力を借りていろいろとセミナーを開いておりますが、最終的にサポートステーションだけが力を持っているのではなく、三条地域の皆さま方に力を貸していただきたいと思ってこうして参りました。

私たちは、若者達にいろんなイメージを持っていただきたい。働くということ、会社でどういうことをすれば自分の希望通りの仕事ができるのかということをお話をしていただいたり、見学に行ったり、いろんな場面を提供していただいてサポートステーションの若者たちに力をつけていただければなと思ってこうして参りました。

私たち、一生懸命やっているのですが、どうしても力不足の所がありますので、是非力を貸してください。

よろしく申し上げます。今日はありがとうございました。

次週例会 2月21日 夜例会「新春例会」於 寺泊きんばちの湯

次々週例会 2月28日 卓話 会員卓話 石橋育於 会員

